

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月13日
【四半期会計期間】	第34期第2四半期（自平成25年7月1日至平成25年9月30日）
【会社名】	株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス
【英訳名】	SQUARE ENIX HOLDINGS CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 松田 洋祐
【本店の所在の場所】	東京都新宿区新宿六丁目27番30号
【電話番号】	03 (5292) 8100
【事務連絡者氏名】	最高財務責任者 渡邊 一治
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区新宿六丁目27番30号
【電話番号】	03 (5292) 8100
【事務連絡者氏名】	最高財務責任者 渡邊 一治
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第33期 第2四半期 連結累計期間	第34期 第2四半期 連結累計期間	第33期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (百万円)	61,055	61,664	147,981
経常損益(は損失) (百万円)	6,266	5,669	4,378
四半期(当期)純損益(は損失) (百万円)	5,480	2,606	13,714
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	6,714	4,161	11,881
純資産額 (百万円)	128,352	123,468	121,636
総資産額 (百万円)	204,825	210,928	202,509
1株当たり四半期(当期)純損益金額(は損失) (円)	47.63	22.64	119.19
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	22.60	-
自己資本比率 (%)	61.8	57.9	59.3
営業活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	5,824	8,311	110
投資活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	7,202	2,375	9,189
財務活動によるキャッシュ・フロー (百万円)	2,313	2,313	3,481
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (百万円)	93,785	103,142	98,822

回次	第33期 第2四半期連結会計期間	第34期 第2四半期連結会計期間
会計期間	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純損益金額(は損失) (円)	29.58	26.90

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 第33期第2四半期連結累計期間及び第33期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期(当期)純損失であるため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社の異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

当社グループは、報告セグメントをデジタルエンタテインメント事業、アミューズメント事業、出版事業、及びライツ・プロパティ等事業と定め、各々のセグメントにおいて事業基盤の強化と収益力の向上に努めております。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は61,664百万円(前年同期比1.0%増)、営業利益は4,675百万円(前年同期は、5,240百万円の営業損失)、経常利益は5,669百万円(前年同期は、6,266百万円の経常損失)となりました。

なお、駅前再開発に伴うアミューズメント店舗閉鎖による受取補償金約3.5億円を特別利益として計上したことや、昨今のゲーム事業の環境変化を踏まえた開発方針の変更に伴い、開発中のゲームタイトルについて見直しを行った結果、コンテンツ評価損約16億円を特別損失として計上したことを主要因として、四半期純利益は、2,606百万円(前年同期は、5,480百万円の四半期純損失)となりました。

当第2四半期連結累計期間の報告セグメント別の状況は次のとおりであります。

デジタルエンタテインメント事業

ゲームを中心とするデジタルエンタテインメントコンテンツの企画、開発、販売及び運営を行っております。デジタルエンタテインメントコンテンツは、顧客のライフスタイルにあわせて、家庭用ゲーム機(携帯ゲーム機含む)、PC、携帯電話(スマートフォンを含む)等、多様な利用環境に対応しています。

当第2四半期連結累計期間は、北米での家庭用ゲーム機向けソフトウェアのディストリビューション販売が好調であった他、8月に運営を開始した多人数参加型オンラインロールプレイングゲーム「ファイナルファンタジーXIV：新生エオルゼア」のソフトウェア販売が好調に推移し、順調に会員数を拡大しております。

また、スマートデバイス・PCブラウザ等をプラットフォームとしたコンテンツにおいては、ブラウザゲーム「戦国IXA(イクサ)」が堅調に推移する他、スマートフォン向けゲーム「拡散性ミリオンアーサー」は、PlayStation Vita版へのプラットフォームの拡大に加えて、韓国に続き、台湾・中国本土でもヒットするなど、順調に推移しております。

当事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は30,636百万円(前年同期比0.4%減)となり、営業利益は3,456百万円(前年同期は、2,088百万円の営業損失)となりました。

アミューズメント事業

アミューズメント施設の運営、並びにアミューズメント施設向けの業務用ゲーム機器・関連商製品の企画、開発及び販売を当セグメントに計上しております。

当第2四半期連結累計期間は、8月に発売した「ロード オブ ヴァーミリオン」等アミューズメント機器の販売が好調に推移した他、アミューズメント施設運営も堅調に推移しております。

当事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は25,003百万円(前年同期比8.2%増)となり、営業利益は3,717百万円(前年同期は、209百万円の営業損失)となりました。

出版事業

コミック単行本、ゲームガイドブック、定期刊行誌等の出版を行っております。

当第2四半期連結累計期間は、一部人気タイトルの新刊が減少したこと等により、前年同期と比較してコミックスなどの売上が減少しました。

当事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は4,621百万円(前年同期比16.4%減)となり、営業利益は990百万円(前年同期比19.3%減)となりました。

ライツ・プロパティ等事業

主として当社グループのコンテンツに関する二次的著作物の企画・制作・販売及びライセンス許諾を行っております。

当第2四半期連結累計期間は、引き続き、自社コンテンツのキャラクターグッズ、サウンドトラック等の販売・許諾を行うとともに、他社の有力コンテンツのキャラクターグッズ化による品揃えの強化や海外展開による収益機会の多様化に努めております。

当事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は1,630百万円(前年同期比2.5%減)となり、営業利益は354百万円(前年同期比0.6%増)となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は103,142百万円（前年同期比9,357百万円の増加）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果獲得した資金は8,311百万円（前年同期は、5,824百万円の使用）となりました。

これは主として、税金等調整前四半期純利益4,297百万円、減価償却費2,924百万円、売上債権6,877百万円の減少、仕入債務3,312百万円の増加及びたな卸資産8,788百万円の増加によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した現金及び現金同等物は、2,375百万円（前年同期比4,827百万円の減少）となりました。

これは主として、有形固定資産の取得による支出1,459百万円及び無形固定資産の取得による支出591百万円です。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した現金及び現金同等物は、2,313百万円（前年同期比0百万円の減少）となりました。

これは主として、配当金の支払額2,294百万円です。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、1,071百万円です。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	440,000,000
計	440,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	115,549,896	115,549,896	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株であります。
計	115,549,896	115,549,896	-	-

(注) 提出日現在の発行数には、平成25年11月1日からこの四半期報告書提出日までのストックオプション(新株予約権)及び2015年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債の権利行使により発行されたものは含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日 (注)	179,300	115,549,896	134	15,338	134	44,578

(注) 新株予約権の行使による増加であります。

(6)【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
福嶋 康博	東京都渋谷区	23,626	20.44
株式会社福嶋企画	東京都渋谷区初台2丁目16-18	9,763	8.44
株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント	東京都港区港南1丁目7-1	9,520	8.23
ロイヤルバンクオブカナダトラストカンパニー (ケイマン)リミテッド (常任代理人 立花証券株式会社)	24 SHEDDEN ROAD PO BOX 1586 GEORGE TOWN GRAND CAYMAN KY 1-1110 CAYMAN ISLANDS (東京都中央区日本橋小網町7-2ペ んてるビル)	7,082	6.12
宮本 雅史	東京都目黒区	7,047	6.09
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	5,685	4.92
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	4,262	3.68
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505223 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業 部)	P.O. BOX 351 BOSTON MASSACHUSETTS 02101 U.S.A. (東京都中央区月島4丁目16-13)	2,705	2.34
株式会社エスシステム	徳島県徳島市弓町2丁目2番地の1	2,045	1.77
ビーエヌワイエムエル ノン トリーティー アカウント (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	VERTIGO BUILDING - POLARIS 2 - 4 RUE EUGENE RUPPERT L-2453 LUXEMBOURG GRAND DUCHY OF LUXEMBOURG (東京都千代田区丸の内2丁目7-1 決済事業部)	1,650	1.42
計	-	73,389	63.51

(注) ハリス・アソシエイツ・エル・ピーから平成25年10月4日付の大量保有報告書の写しの送付があり、平成25年9月30日現在で以下のとおり株式を保有している旨の報告を受けておりますが、株主名簿の記載内容が確認できないため、当社として実質所有株式数の確認ができません。なお、その大量保有報告書の変更報告書の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (千株)	株券等保有割合 (%)
ハリス・アソシエイツ・エル・ピー	2 North LaSalle Street, Suite 500, Chicago, IL, USA, 60602	5,956	5.15
計		5,956	5.15

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 303,800	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 114,589,900	1,145,899	-
単元未満株式	普通株式 656,196	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	115,549,896	-	-
総株主の議決権	-	1,145,899	-

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が1,100株(議決権の数11個)が含まれております。

2. 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式63株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社スクウェア・エ ニックス・ホールディング ス	東京都新宿区新宿 六丁目27番30号	303,800	-	303,800	0.26
計	-	303,800	-	303,800	0.26

(注) 上記のほか、株主名簿上は当社名義となっておりますが実質的に所有していない株式が100株(議決権の数1個)あります。なお、当該株式数は上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」の欄の普通株式に含まれております。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	100,418	104,868
受取手形及び売掛金	30,226	24,632
商品及び製品	2,376	2,283
仕掛品	47	327
原材料及び貯蔵品	357	366
コンテンツ制作勘定	15,805	25,441
その他	9,941	8,503
貸倒引当金	136	174
流動資産合計	159,035	166,250
固定資産		
有形固定資産	20,169	19,886
無形固定資産	10,940	11,609
投資その他の資産	12,363	13,182
固定資産合計	43,473	44,677
資産合計	202,509	210,928

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,653	12,762
短期借入金	5,726	6,323
未払法人税等	1,499	1,266
賞与引当金	966	1,406
返品調整引当金	4,319	3,367
店舗閉鎖損失引当金	256	149
資産除去債務	3	1
その他	15,989	18,376
流動負債合計	37,414	43,653
固定負債		
社債	35,000	35,000
退職給付引当金	4,714	4,831
役員退職慰労引当金	244	187
店舗閉鎖損失引当金	468	496
資産除去債務	800	803
その他	2,229	2,486
固定負債合計	43,457	43,806
負債合計	80,872	87,460
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,204	15,338
資本剰余金	44,444	44,578
利益剰余金	68,153	68,459
自己株式	862	864
株主資本合計	126,940	127,512
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	57	417
為替換算調整勘定	6,911	5,785
その他の包括利益累計額合計	6,853	5,368
新株予約権	652	356
少数株主持分	897	967
純資産合計	121,636	123,468
負債純資産合計	202,509	210,928

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	61,055	61,664
売上原価	39,988	34,433
売上総利益	21,066	27,230
返品調整引当金戻入額	1,495	4,538
返品調整引当金繰入額	1,852	3,344
差引売上総利益	20,710	28,425
販売費及び一般管理費	25,950	23,749
営業利益又は営業損失()	5,240	4,675
営業外収益		
受取利息	57	52
受取配当金	5	5
為替差益	-	942
雑収入	46	67
営業外収益合計	108	1,066
営業外費用		
支払利息	52	44
支払手数料	26	26
為替差損	1,025	-
雑損失	31	2
営業外費用合計	1,135	73
経常利益又は経常損失()	6,266	5,669
特別利益		
投資有価証券売却益	-	24
新株予約権戻入益	23	33
受取補償金	-	351
その他	3	2
特別利益合計	26	412
特別損失		
固定資産除却損	57	41
コンテンツ評価損	-	1,641
その他	77	87
特別損失合計	135	1,770
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益又は純損失()	6,375	4,311
匿名組合損益分配額	0	14
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	6,375	4,297
法人税、住民税及び事業税	366	836
法人税等調整額	535	847
法人税等合計	902	1,683
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	5,472	2,614
少数株主利益	7	7
四半期純利益又は四半期純損失()	5,480	2,606

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	5,472	2,614
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	121	359
為替換算調整勘定	1,119	1,187
その他の包括利益合計	1,241	1,547
四半期包括利益	6,714	4,161
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,701	4,091
少数株主に係る四半期包括利益	12	70

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	6,375	4,297
減価償却費	3,040	2,924
受取補償金	-	351
貸倒引当金の増減額(は減少)	7	33
賞与引当金の増減額(は減少)	84	423
返品調整引当金の増減額(は減少)	356	1,194
退職給付引当金の増減額(は減少)	467	117
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	4	57
店舗閉鎖損失引当金の増減額(は減少)	95	65
受取利息及び受取配当金	62	57
支払利息	52	44
為替差損益(は益)	730	761
投資有価証券売却損益(は益)	-	24
固定資産除却損	57	41
売上債権の増減額(は増加)	405	6,877
たな卸資産の増減額(は増加)	1,789	8,788
仕入債務の増減額(は減少)	1,280	3,312
その他	3,057	1,135
小計	2,334	7,839
利息及び配当金の受取額	46	74
利息の支払額	54	52
補償金の受取額	-	351
法人税等の支払額	3,584	1,129
法人税等の還付額	102	1,228
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,824	8,311
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	1,364	1,717
定期預金の払戻による収入	1,351	1,717
有形固定資産の取得による支出	6,945	1,459
有形固定資産の売却による収入	151	29
無形固定資産の取得による支出	741	591
投資有価証券の売却による収入	-	53
子会社株式の取得による支出	-	182
差入保証金の差入による支出	58	131
差入保証金の回収による収入	501	227
貸付けによる支出	51	61
貸付金の回収による収入	3	3
その他	49	261
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,202	2,375

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	-	0
自己株式の取得による支出	0	2
配当金の支払額	2,295	2,294
その他	17	16
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,313	2,313
現金及び現金同等物に係る換算差額	989	696
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	16,330	4,319
現金及び現金同等物の期首残高	110,116	98,822
現金及び現金同等物の四半期末残高	93,785	103,142

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
投資その他の資産	631百万円	563百万円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
給料手当	6,840百万円	7,167百万円
賞与引当金繰入額	785	803
退職給付費用	744	556
広告宣伝費	5,391	3,592

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	95,136百万円	104,868百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	1,351	1,726
現金及び現金同等物	93,785	103,142

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月18日 取締役会	普通株式	2,301	20	平成24年3月31日	平成24年6月5日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月6日 取締役会	普通株式	1,150	10	平成24年9月30日	平成24年12月5日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月17日 取締役会	普通株式	2,301	20	平成25年3月31日	平成25年6月4日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年11月6日 取締役会	普通株式	1,152	10	平成25年9月30日	平成25年12月5日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	デジタルエン タテイン メント事業	アミューズ メント事業	出版事業	ライセンス・プロ パティ等 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	30,749	23,115	5,530	1,660	61,055	-	61,055
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	13	13	13	-
計	30,749	23,115	5,530	1,673	61,068	13	61,055
セグメント利益 又は損失()	2,088	209	1,227	352	718	4,521	5,240

(注)1. セグメント利益の調整額 4,521百万円には、報告セグメントに帰属しない一般管理費 4,541百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	デジタルエン タテイン メント事業	アミューズ メント事業	出版事業	ライセンス・プロ パティ等 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	30,631	25,003	4,525	1,503	61,664	-	61,664
セグメント間の内部売上高又は振替高	4	-	95	127	227	227	-
計	30,636	25,003	4,621	1,630	61,891	227	61,664
セグメント利益	3,456	3,717	990	354	8,519	3,843	4,675

(注)1. セグメント利益の調整額 3,843百万円には、報告セグメントに帰属しない一般管理費 3,859百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純損益金額(は損失)	47円63銭	22円64銭
(算定上の基礎)		
四半期純損益金額(は損失)(百万円)	5,480	2,606
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純損益金額(は損失) (百万円)	5,480	2,606
普通株式の期中平均株式数(千株)	115,069	115,157
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	-	22円60銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(百万円)	-	-
普通株式増加数(千株)	-	173
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年11月6日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額・・・1,152百万円

(ロ) 1株当たりの金額・・・10円

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・平成25年12月5日

(注) 平成25年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月13日

株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 長坂 隆 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 横内龍也 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 金野広義 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングスの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社スクウェア・エニックス・ホールディングス及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。